

平成30年度 指定管理業務 評価票

寝屋川公園	【指定管理者】 寝屋川公園指定管理グループ	【指定期間】平成30年4月1日 ~ 平成35年3月31日	【所管課】 枚方土木事務所 都市みどり課
-------	--------------------------	------------------------------	-------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【寝屋川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
I 提案の履行状況に関する項目						
(1) 施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の芝刈りや園内除草の回数を増やすなど、利用者に満足して利用してもらえるようきめ細やかな管理を行った。 ・異常気象時の危機管理を行うとともに、地震や台風の被災直後には公園内外の通行や運動施設利用再開など早期復旧に努めた。 ・来園者に、やりたいことや新しいことにトライしてもらい「地域の誇りとなる公園づくり」を目指して、スポーツ教室やテニス大会、ボランティアや大学の活動場所の提供、フェスティバルや園芸、工作などのイベントを実施。子育て支援の取組として事務所に幼児コーナーの設置を行った。 <p>【自己評価】</p> <p>施設利用者からのクレームもなく、満足して利用してもらえた。また、災害の早期復旧に努めたことでほとんど利用中止を行うことがなかった。スポーツ教室も継続しており、ボランティア活動や大学との連携も活発に行われ、各種イベントも毎回満員の状態である。幼児コーナーも少しずつではあるが利用されてきている。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。 ○地震や台風等の災害復旧対応を迅速かつ適切に実施している。 ○各種スポーツ教室や園芸・工作教室、寝屋川公園フェスティバルを開催。また、大学やボランティア等への活動場所の提供や幼児コーナーの開設など「地域の誇りとなる公園づくり」を実施している。 	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>「地域の誇りとなる公園づくり」を実施している点、災害時の対応、その復旧は評価できる。引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の使用や行為許可などにおいて、「大阪府都市公園条例」及び「府営公園管理要領」に基づき、平等・公平に行った。 ・オーパス・スポーツシステムの取扱いの際には、特定の利便を受けたり、不正利用がないよう、徹底して本人確認調査を行った。 ・高齢者や障がい者などを含めた、すべての方が公園を快適に楽しめるよう、管理事務所で車いすの貸し出しや、一般用更衣室内において授乳室やオムツ交換コーナーを提供している。 <p>【自己評価】</p> <p>大阪府都市公園条例や管理要領をよく理解したうえで業務を行うよう努め、利用者指導などを行うことでトラブルもなく平等に利用されている。一方、事務所建物が古く更衣室等が暗いことから高齢者や障がい者には利用しづらい面があることから改善していく必要がある。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。 ○関係法令やそれらに基づくルールに則した公平な受付業務や利用指導を行うとともに、不正利用がないよう徹底して本人確認調査を行うなど、公共施設としてあるべき平等利用に努めている。 ○車椅子の貸出をはじめ授乳室やオムツ交換コーナーを設けるなど高齢者や障がい者、子育て家族にも配慮した対策を実施している。 	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>障がい者への配慮、公平な受付業務や利用指導に努めていることは評価できる。</p> <p>引き続き、幅広い利用者層への情報発信などにより、あらゆる立場の人に対する平等利用の促進につとめられたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	施設所管課の評価	評価 (S~C)	【寝屋川公園】 評価委員会の指摘・提言
(3) 利用者の増加を図るための 具体的手法・効果	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「寝屋川公園地域連携協議会」を開催し、「連携」と「情報の共有化」を図り、公園の魅力や利用方法の発掘、促進を行った。 ・「寝屋川公園フェスティバル」などの親子で楽しめるイベントを実施した。(参加者数:約1,000人) ・テニスコートの休日稼働率は約85%と高いが平日では約30%弱と低いため、テニススクールを開催するなど利用率向上を目指した。その他の運動施設の稼働率は以下のとおり 第1野球場:平日約50%、土日祝約90% 第2野球場:平日約30%、土日祝約96% ・「地域の誇りとなる公園づくりの一環」として、公園ボランティアと協働による花壇管理・竹林管理・園内清掃、観察会、工作教室を実施した。 ・「オーパス・スポーツ施設情報システム」を通じて平日にスポーツ施設を利用いただいた利用者本人に対して、駐車料金420円の割引サービスを実施中。また、駐車料金の見直しを図り利用者のニーズに合わせて、冬季の駐車料金の割引を実施中。 ・ホームページ上に「ご意見・ご要望への対応広場」を掲載し情報発信している。 <p>【自己評価】</p> <p>協議会メンバーによる、寝屋川公園フェスティバルへの出展協力や公園の在り方の議論や提案を受けており、有意義な協議会となっている。また、駐車場割引は公園利用者に好評である。ホームページでは施設利用やイベント情報に関する問い合わせや要望に対応し公園利用者の理解を深めることができた。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○オーパス利用者への割引サービスや冬季の駐車料金の値下げなど利便性の向上につながる取り組みを行っている。</p> <p>○寝屋川公園地域連絡協議会が主体となった寝屋川公園フェスティバルや年間を通した工作教室等の各種イベントを実施し利便性の向上につなげている。また、協議会では利便性の向上につなげるための意見交換を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>冬季の駐車料金値引サービスの実施や、他団体との協議会により寝屋川公園フェスティバルを実施する等、様々な取り組みを適切に実施し、利用者の利便性向上を実現している点、運動施設や駐車場の利用率向上策は評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	<p>収益事業の実施状況、(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)</p> <p>(※ Aグループのみ、Bグループも実績があれば記載可)</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理事務所の更衣室にコインロッカーを設置した。 ・管理事務所とクラブハウスにアイスクリームと飲料自販機を設置した。 ・BBQ機材の貸し出し事業については、平成31年度早期実施を目指し調整中。 <p>【自己評価】</p> <p>コインロッカー利用は少ない状況であるが、アンケートで求められていた売店機能に代わるアイスクリーム及び飲料販売は利用者に好評である。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○アンケートで求められていた売店機能を強化するため、管理事務所とクラブハウスに、飲食物の販売品目を増やした。</p> <p>○テニスプレーヤーのレベルや年齢等に応じたスクールやトーナメントを開催している。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>利用者から要望があった管理事務所とクラブハウスに、飲食物の販売品目を増やした点、コインロッカーの設置や、年齢等に応じたテニススクールやトーナメントを開催している点などは評価できる。</p> <p>今後BBQ貸出しなど更なる公園の活性化や利用者サービスの向上を図ることを期待する。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【寝屋川公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
	<p>トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)</p>	<p>【実績】 ・トラブルや苦情が発生した場合には、速やかに現地確認を行い、状況を把握した上で苦情主等への対応を行っている。 ・巡視等により危険箇所が発見された場合は、直ちに安全対策を講じたうえで大阪府への報告など迅速・的確な措置を講じている。 ・トラブル発生時は、朝礼において従業員全員に周知し情報を共有し統一した対応に努めている。また、来園者や施設利用者に対するトラブルを防止するため朝礼時に訓示している。接遇研修は12月14日に行う予定。 【自己評価】 一般的な苦情・要望では迅速な対応を行うことで、理解していただきトラブルになることがなかった。一方、早期解決が困難な案件については大阪府と常に連絡調整を行い対応に当たっている。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。 ○トラブルや苦情の発生時には現地確認や苦情主等への対応を速やかに実施。また、朝礼時には全職員に情報共有や訓辞を行うなどトラブルの未然防止に努めている。 ○駐車場出入口で施設利用可否の情報を伝えるなどトラブルの未然防止に努めている。</p>	A	<p>巡視時の注意喚起、非常時の迅速かつ丁寧な対応、ならびに職員教育が、トラブルの未然防止につながっており、評価できる。 引き続き、トラブルの未然防止、適正な対処に努められたい。</p>
	<p>草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)</p>	<p>【実績】 ・台風等の異常気象対応に伴い草地管理計画に基づく作業に大きな影響が生じたが、園内施設の利用状況を見極めながら、着手順番の組み換えや実施時期の見直し、回数を増やすなどの調整を行い作業を実施した。 ・樹木管理については、来園者の安全性や景観形成、樹木の健全育成に配慮して行った。また、台風被害に伴う倒木や危険枝の撤去など初期対応に努めた。 ・ナラ枯れ木については巡視等で早期発見に努め、これまでの対策を継承して行った。 ・彩り花壇等については、防草シート工法の弊害により、生育障害が発生しているため土壌調査を行った。また、大阪府と改善プロジェクトを立ち上げ、状況把握や手法を継続的に検討していく。 ・花壇管理では補植や猛暑時においても灌水作業を丁寧に行った。 【自己評価】 ・台風21号による被災後、作業工程を見直しを計り、倒木処理や除草を計画的に進めたが、芝生広場の除草要望が出されたことから、再度、工程調整を行い対処することでニーズに答えることができた。 ・ナラ枯れはこれまでの取組成果により、減少していると思われるが、今後も対策を続ける。 ・花壇管理では補植や猛暑時においても灌水作業を丁寧に行うことで、来園者に草花景観を提供することができ喜ばれた。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。 ○台風等の異常気象に伴い、草地管理計画に基づく作業に大きな影響が生じたが、園内施設の利用状況を見極めながら、着手順番の組替や、実施時期の見直し、回数を増やすなど、実態に応じ臨機応変に対応している。 ○花壇管理では、猛暑の中、丁寧に灌水作業を行い、来園者に良好な景観を提供できた。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。 台風等の被害に伴い、草地管理計画に基づく作業に大きな影響が生じたが、園内施設の利用状況を見極めながら、着手順番の組替や、実施時期の見直し、回数を増やすなど、実態に応じ臨機応変に対応している点などは評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【寝屋川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(4) 施設の維持管理の内容、適 格性及び実現の程度	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期 および技術について確認。利用や美観への配慮がなされ ているかの確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内清掃は、繁忙期は週3回、その他の時期は週2回を実施している。 トイレ清掃は、4月から11月において、標準回数が1回および2回の箇所について、週3回実施している。 清掃情報点検表を各トイレ・更衣室の見やすい位置に掲示し、利用者目線に立った案内を行っている。 中央広場噴水・カスケード・壁泉など噴水施設などのゴミを毎日確認し、ゴミの回収を行っている。 大阪府が進める「ゴミ0」計画に基づき、公園内のゴミ箱についてBBQ対策のための1か所を除き全数を撤去した。 <p>【自己評価】</p> <p>園内清掃では、計画以外にも障がい者1名の雇用を行って平日は毎日清掃を行っており美観が保たれている。便所清掃では施設の老朽化によるトラブルが時々発生するが迅速な対応を行い美観を保つことができた。中央広場のカスケードの清掃を行うことで水遊びをする子供たちの安全や衛生環境を保つことができた。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○4~11月のトイレ清掃は標準回数が1回及び2回の箇所については週3回実施するなど、繁忙期を見極め、計画以上の回数を実施している。</p> <p>○清掃情報点検表をトイレや更衣室の見やすい位置に掲示するなど、利用者目線に立ったサービスを行っている。</p> <p>○府が進める「ゴミ0」計画に即してBBQエリア以外のゴミ箱を全て撤去した。</p>	A	事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。利用者にわかりやすい清掃状況の提示を積極的に行っている点や、繁忙期の清掃回数の増加などの点は評価できる。引き続き、適切な維持管理に努められたい。
	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐車場の入口に運動施設利用案内看板を設置し、雨天時などに運動施設が利用可能かどうかを入庫前にお知らせするサービスを提供している。 天候、利用状況に応じて、グラウンド整備や芝刈り、テニスコート内の落葉清掃等の回数を大幅に追加して実施した。 第2野球場内他芝生地において発生したメリケントキンソウについては、芝が高く伸びきる前に芝刈りの頻度を上げて刈り込むことにより、生育を抑えることができた。 野球場や陸上競技場において、利用者サービスの一環として、規定より回数を増やして芝刈りを実施した。 <p>【自己評価】</p> <p>駐車場入り口で施設利用可否などの、情報を伝えることでトラブルの発生を未然に防ぐことができた。また運動施設の管理頻度を大幅に増やしたことで快適な利用を提供することができた。さらに、メリケントキンソウが抑制され、発生数が激減したことで快適な利用を提供できた。</p>	S	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上を実施。</p> <p>○台風21号の災害対応で維持管理予算のやりくりを余儀なくされたものの、利用者のニーズに合わせて作業頻度を上げるところは上げるなど、利用者の目線に合わせた管理を行っている。</p> <p>○運動施設全般において管理頻度を大幅に増やすなど良好で適切な管理を行い、快適な利用環境を提供した。</p> <p>○天候や利用状況に応じてグラウンド整備や芝刈り、テニスコート内の落葉清掃等の回数を大幅に追加して実施するなど良好な管理を行っている。</p> <p>○芝が高く伸びきる前に芝刈り頻度を大幅に増やしたことによりメリケントキンソウの発生頻度が激減したことは非常に高く評価できる。</p>	S	事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。メリケントキンソウ対策・芝刈りを計画以上の頻度で行うことで、運動施設を良好なコンディションに保ち、安全性・快適性を確保している点は高く評価できる。引き続き、適切な維持管理に努められたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	施設所管課の評価	評価 (S~C)	【寝屋川公園】 評価委員会の指摘・提言
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内2箇所の竹林にて、ボランティア「寝屋竹輪会」と協働で間伐などの管理を実施している。 公園ボランティアと協働して、子どもたちやファミリーを対象とした草餅づくりや、セミの観察会、星空観察会を実施、また、一般向けの公園散歩や園内植物を使ったリースづくりなど自然に理解を深めてもらうためのイベントの開催を数多く行った。 <p>【自己評価】</p> <p>竹林の管理を行うことで良好な景観を保つとともに健全な竹林管理ができています。ボランティアと協働で行っているイベントを多く実施したが、どのイベントも予約がすぐに埋まるほど好評で、高齢者からファミリーまで多くの人たちに喜ばれるだけでなく自然への造詣を深めるきっかけになっている。</p>	S	<ul style="list-style-type: none"> ○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。 ○竹林の間伐をボランティアと協働して実施し良好な景観を維持している。 ○ボランティアと協働した草餅づくりやセミや星空の観察会、公園散歩、リースづくり等のイベントを数多く実施し、予約がすぐに埋まるなど高齢者からファミリーまで多くの方から好評を得た取り組みを行っている。 	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>ボランティアとの連携による竹の間伐や、各種イベントの開催などに努めたことは評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日午前と午後の2回、2名1組の2班体制で巡視業務を確実に実施し、施設の不具合や危険箇所が発見された場合は、立ち入り禁止措置を行い修繕等の対応を行った。 遊具事故を防ぐため、毎日の日常点検、月1回の定期点検を行っている。年1回の専門点検や繁忙期には臨時点検を行った。 各トイレに薬用石鹸等を設置し、夏季の0-157対策として、塩化ベンザルコニウム液の散布等を行った。 施設利用者への熱中症対策注意喚起を行うとともに経口補水液を準備、さらに消防と連携体制を行った。 <p>【自己評価】</p> <p>不具合や危険箇所を発見した場合は早期対応を行ったことで利用者の安全確保や不便をかけることなく快適な利用を提供できた。</p> <p>また、遊具点検や夏場の衛生対策により事故や苦情等のトラブルもなかった。</p> <p>猛暑により初期にはスポーツ施設利用者の熱中症が多発したが、注意喚起や指導を行うことで発生を抑えることができた。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。 ○園内施設の日常巡視や点検等により危険箇所などの早期発見に努め、速やかに処置を行うなど利用者の安全確保に努めた。 ○熱中症対策として注意喚起や経口保水液の準備を行うなど、夏場の利用者の安全確保に努めた。 	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>日常巡視に努め、危険箇所を早期発見するとともに、夏季の熱中症対策など運動施設施設での安全対策、状況に応じた具体的な対応は評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震発生時の参集体制計画を作成しそれに基づき6月18日の北大阪地震時に対応した。 大雨や台風など異常気象時の勤務体制を作成し、警報発表時は参集し対応にあたった。また、被害が想定される場合は、別途、作業班の待機を行い緊急作業にあたった。 訓練については、9月に枚方土木の訓練に合わせて行う予定であったが台風のため延期。1月17日大阪府との合同訓練を実施する予定。また、独自の震災訓練を3月に実施する予定。 <p>【自己評価】</p> <p>地震時の参集は迅速に行うことができ、施設点検を迅速に行うことで施設の利用再開が行えた。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。 ○非常時の参集体制計画を作成し、大阪北部地震や台風21号等の災害時に迅速な参集と対応を実施している。 	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。</p> <p>非常時の対応マニュアルの作成や、大阪北部地震や台風21号等非常時の適切で迅速な対応は評価できる。</p> <p>引き続き、危機管理体制の維持・充実に努力されたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【寝屋川公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい者の支援として、知的障がい者1名を直接雇用するほか、シルバー人材センターを通じて、高齢者の就労支援を積極的に行っている。 ・「こころの再生」府民運動に賛同し、親子で参加できる「七夕飾り」などのイベントを実施した。 ・「大阪ミュージアム構想」で「みどり・自然」部門に登録されていることから、ホームページ等に掲載し、そのPRを積極的に行った。 ・大阪府が進める「ゴミ0」計画に基づき、公園内のゴミ箱を撤去し、持ち帰りを推奨した。 ・寝屋川市域を中心に活躍しているヒーロー候補「ネクステンジャー」をPRキャラクターに迎え、協働で公園のPR(イベント、ごみ持ち帰り、犬のマナーアップ等)を行った。 ・それ以外にフェイスドアイ実証実験への協力を行っている。 <p>【自己評価】</p> <p>応募時の提案どおり行っている。</p> <p>マナーアップの周知は従業員が行うと受け入れてもらえない部分があるが、PRキャラクターに協力してもらうことで楽しく啓発できた。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する</p> <p>○知的障がい者の活動場所の提供や高齢者の就労支援を積極的に実施している。</p> <p>○PRキャラクターとの協働によるマナーアップ活動に取り組んでいる。</p> <p>○「こころの再生」府民運動や「大阪ミュージアム構想」、「ゴミ0計画」、フェイスドアイ実証実験への協力などさまざまな府施策に積極的に貢献している。</p>	A	<p>知的障がい者の活動場所の提供や高齢者の就労支援を積極的に実施している点、PRキャラクターとの協働によるマナーアップ活動に取り組んでいる点、「ゴミ0計画」、フェイスドアイ実証実験への協力などさまざまな府施策に積極的に貢献している点は評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】</p> <p>春、秋に200部ずつ実施。</p> <p>①売店の充実について、やや不満又は不満と答えた方が42%と、他の項目に比べて満足度が低い結果となった。これは本公園には通年営業の売店がないため、不便を感じている方が多いものと思われる。</p> <p>②イベントの種類や数については、やや不満又は不満と答えた方が20%であった。これは、日常的な散歩やスポーツ施設利用者を対象としたイベントが少ないためと思われる。</p> <p>【自己評価】</p> <p>①今後は利用状況を調査し、売店機能の強化を図る。具体的には、キッチンカーの出店時期やメニュー等を検討する。</p> <p>②日常の利用者を含めた幅広い年齢層に対応するため、音楽イベントや子供絵画展示等の文化的イベントの開催を検討する。</p>	A	<p>総合評価は、春1.4 秋1.5であった。</p> <p>○概ね満足の中でもやや満足度の低い項目や自由意見に着目し、更なる満足度の向上に努めている。</p>	A	<p>総合的な満足度は良好であり、適切な維持管理が行われている。</p> <p>今後の対応策も考えている等、適切に運営されていると考えられる。</p> <p>売店の充実を図り更なる満足度向上に向け、引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取組みを行ったか。	<p>【実績】</p> <p>アンケート結果から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内に売店が少ないため、不便を感じている方が多いことから、イベント時の臨時売店の設置や建物内自販機の設置を行った。 ・公園利用者の多くが、スポーツ施設利用と日常的な散歩であることから、ファミリー層が楽しめるイベントや環境づくりの取組みをおこなった。 ・犬の放し飼いに對して、不満の方や、やや不満と回答があることから、マナーアップの呼びかけや看板などの設置に加えて、地元ボランティアと協働し飼い主の方に楽しく理解してもらえる取組みを行った。 <p>【自己評価】</p> <p>アイスクリームなどの販売を始めており好評を得ている。また、イベント時には物販ブースを設けることでニーズに応えている。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○イベント時の臨時売店や建物内に自販機を設置することで利用者からのニーズに応えている。</p> <p>○利用実態を踏まえ、ファミリー層が楽しめるイベントや環境づくりの取組みを行っている。</p>	A	<p>前年度低い評価を受けた事項に対し、適切に対応されている。</p> <p>イベント時の臨時売店や建物内に自販機を設置することで利用者からのニーズに応えている点、利用実態を踏まえ、ファミリー層が楽しめるイベントや環境づくりの取組みを行っている点などは評価できる。</p> <p>引き続き、幅広い利用者の満足度向上に向けて努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【寝屋川公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
(2)その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央広場噴水の13時台の運転時間について、13:00~13:15、13:30~14:00に時間延長を行った。 ・バスケットコート臨時駐車場の使用時のトラブル防止のため、舗装面にライン引を行いルール化の徹底を行った。 ・スキルの高い従業員による一般向けのアジサイの挿し木講習会を開催した。 ・隣接する支援学校に協力し、活動場所の提供や生徒送り迎えの際に駐車場利用券を発行するなど活動支援を行った。 ・寝屋川市の進める東寝屋川駅周辺の再開発に伴う駅名の変更に合わせて南地区内で記念植樹を予定している。 <p>【自己評価】</p> <p>支援学校への協力では、保護者の方や関係者の理解を得て地域貢献につながっている。駅名変更に伴いJRや寝屋川市との新たな連携・協力が生まれている。</p>	A	<p>○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上を実施。</p> <p>○臨時駐車場に設置したバスケットコートの利用において、臨時駐車場として利用する際のルール化を行うなど利便性の向上やトラブル回避に努めている。</p> <p>○台風21号時に約100本の倒木が発生するなど多くの自然災害に見舞われたが、指定管理者の迅速な対応により早期開園につなげることができた。</p> <p>○府が発注する台風に伴う樹木撤去工事において、発注に必要となる詳細な現場調査を行い、速やかな工事発注に寄与できたことは非常に高く評価できる。</p>	S	<p>臨時駐車場に設置したバスケットコートの利用において、ルール化による利便性の向上やトラブル回避に努めている点、台風21号通過後に樹木撤去については迅速に対応し早期開園につなげることができた点、府が発注する樹木撤去工事において、発注に必要となる詳細な現場調査を行い、速やかな工事発注に寄与できたことなどは高く評価できる。</p> <p>引き続き、新たな取組みを開発しながら来園者の満足度向上に努められたい。今後とも、積極的な取組みを期待する。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【寝屋川公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	【実績】 ・長雨や猛暑、台風などの影響により収入不足や緊急支出が生じたが支出計画の見直しを行うことで適正に支出配分を行った。 【自己評価】 適正な収支となる見込みである。	A	○異常気象や自然災害等により収入不足等が生じたが、支出計画の見直しにより適正な収支にするなど、当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て満足する	A	ほぼ計画的な予算執行である。引き続き、適切な収支バランスの維持に努められたい。
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	【実績】 様式第4号1「管理体制計画書」に記載された必須ポスト数、責任者1名、副所長1名、職員1名他を配置している。 【自己評価】 ・必須ポスト数以上の人員を確保し、管理体制や職員計画を構築した。	A	○必須ポスト数以上を確保して管理体制や職員計画を構築するなど、当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て満足する。	A	—
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	【実績】 ・「公園管理運営士」の資格を有する所長(総括責任者、運営管理責任者)を配置している。 ・「造園施工管理技士」の資格を有する維持管理責任者を配置している。 ・危険物乙種4類取扱者1名を配置している。 ・電気主任技術者は、その資格を有する技術者を保有している一般財団法人関西電気保安協会に委託している。 【自己評価】 計画どおり有資格者の配置を行っており、資格に基づいて適正管理を行うことができた。	A	○資格を持つ必置技術者等を適正に配置するなど、当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て満足する。	A	—
	労働災害等未然防止のための管理運営。(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	【実績】 ・前年度において、草刈り時の飛び石による公衆災害やチェンソーによる労働災害が発生し、従業員への安全講習会参加や安全教育、機器取り扱い訓練・研修を実施したことから、その時の反省や改善点を踏襲し、安全管理を行っている。 ・事故事例等の情報を共有し朝礼やミーティング時に注意喚起を促している。 ・機器を用いる園内業務を行う際は、免許や講習会終了した者が行っている。 ・現場作業従事者への安全講習会を実施、また、大阪府実施の安全講習会に責任者が受講し、その内容を従業員で共有した。 【自己評価】 4月当初に従業員の更新があったことから、安全教育として、一からの現場指導を行うとともに朝礼や研修を通じてスキルアップを図ることで一人一人の意識改革が行えており、現場作業での安全対策が適正に行われている。	A	○前年度に発生した公衆災害や労働災害の教訓を活かし、事故事例等の情報共有と注意喚起、従業員への安全教育や機械操作訓練等の実施により、一人一人の意識改革が図られている。 ○責任者を安全講習会に参加させその内容を従業員に周知している ○機器を用いる際には免許取得者や講習修了者が行うなど労働災害の未然防止への取組みを強化 ○また、府も履行確認時に取組状況を確認している	A	昨年度の労働災害を活かし管理上の問題は発生しておらず、今後も労働災害等を発生させることなく管理運営に努められたい。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	【実績】 グループ内の各法人ともに、経営状況に大きな変化はなく、指定管理業務の継続に問題はありませぬ。	A	○経営状況に大きな変化はなく、当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て満足する。	A	財政状態はおおむね良好であるが、直近期に営業CFがマイナスの構成団体がある。